

1	組 織 名 称 (略 称)	Kantara Initiative (Kantara) http://kantarainitiative.org/																														
2	分 類	活動目的	－	仕様策定	○	実装・検証	オープン ソース	該当なし																								
			◎	試験・認証	－	普及・啓発																										
			－	その他()																												
	対 象 技 術 分 野	⑧情報・通信技術 (セキュリティ関 連)		対象サービス		⑥サービス(その他)																										
	技 術 M A P	活動エリア	③モバイル系、固 定系の両方の領 域を対象に活動 実施		活動領域		④MDL領域の活動を実 施																									
3	目 的	三つのID管理技術の相互運用を目指す業界団体。三つのID管理技術とは、(1)「OpenID」(2)「SAML」(security assertion markup language)(3)「Information Card」を指す。日本でもカンターラ・イニシアティブの設置を受けて、国内事情を考慮するための組織である「ジャパン・ワークグループ」と「ジャパン・ディスカッショングループ」が発足した。異なるID管理フレームワークやプロトコル、仕様を推進する各種プロジェクトと連携し、エンドユーザーの利便性やセキュリティ、プライバシー保護を確保する標準技術を確立するのが目的。																														
4	組 織 構 成	Work Groups ・Blockchain and Smart Contracts DG ・Consent and Information Sharing WG ・Consent Management Solutions WG ・eGovernment WG ・Federation Interoperability WG ・Health Identity & Assurance WG ・Identities of Things DG ・Identity Assurance WG ・Identity Relationship Management WG ・Open Trust Taxonomy for OAuth2 ・User Managed Access WG ・User-Managed Access Developer Resources WG																														
5	参 加 資 格 会 費	Kantara Initiative Membership Levels会費(年間 US\$) Membership Levels and Dues <table><tr><td>Employees</td><td>Individual</td><td>1-3人</td><td>4-100人</td><td>101-1000人</td><td>1000人以上</td></tr><tr><td>Director Member</td><td>\$18,500</td><td>\$18,500</td><td>\$20,000</td><td>\$30,000</td><td>\$45,000</td></tr><tr><td>Organization Member</td><td></td><td>\$450</td><td>\$3,500</td><td>\$9,500</td><td>\$19,000</td></tr><tr><td>Individual Member</td><td>\$150</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table>							Employees	Individual	1-3人	4-100人	101-1000人	1000人以上	Director Member	\$18,500	\$18,500	\$20,000	\$30,000	\$45,000	Organization Member		\$450	\$3,500	\$9,500	\$19,000	Individual Member	\$150				
Employees	Individual	1-3人	4-100人	101-1000人	1000人以上																											
Director Member	\$18,500	\$18,500	\$20,000	\$30,000	\$45,000																											
Organization Member		\$450	\$3,500	\$9,500	\$19,000																											
Individual Member	\$150																															
6	主 要 メ ン バ (2018年6月現在) (注1)	主要メンバー:・Board 6社 ForgeRock, CA Technologies, Internet Society(ISOC), Secure Key, digi.me うち日本企業:0社 会員数:46社 うち日系企業数:1社(学術認証フェデレーション)																														
7	他 団 体 ・ 組 織 と の 関 係	リエゾンなど EEMA(European Association for e-identity and security) PDEC(Personal Data Ecosystem Consortium) DIACC(Digital Identity and Authentication Council of Canada) OCG(Open Consent Group Ltd) NATE(National Association of Health Exchange) FuGen Solutions SAFE-BioPharma EHNAC(The Electronic Healthcare Network Accreditation Commission) IDESG(The Identity Ecosystem Steering Group) Direct Trust ISO SC 27 N10363																														

		ITU-T SG17		
8	T T C 活 動 と の 関 連 性 (注2)	TTCの専門委員会活動との関係(☑関係あり、□関係なし) 関係する場合の専門委員会名(右欄より選択) 理由: ID管理技術を扱っているため		セキュリティ
9	活 動 状 況	Press Releases (http://kantarainitiative.org/category/pr/) ・May 8, 2018 Identity Assurance Programを通じて、NIST SP 800のIdentity Assurance Level 2およびAuthenticator Assurance Level 2に準拠したサービスプロバイダーにTrust Markの認可を提供した。 ・February 20, 2018 プライバシー保護と個人データを扱う最初のブロックチェーンレポートをリリース ・February 13, 2018 グローバルスタンダードを大幅に強化したUMA (User-Managed Access) Version 2.0 (UMA 2.0) 技術仕様の承認と出版を正式に発表。 ・January 31, 2018 KantaraとIDESG (Identity Ecosystem Steering Group's)は、消費者のオンラインアイデンティティ保護を強化するため、するデジタルアイデンティティアセスメントMOUを締結した。 ・November 27, 2017 iWelcomeとdigi.meはKantara内においてInitiative Consent Management WGを発足させた。 ・November 14, 2017 Identity.comは資格認定サービスプロバイダとしてKantara InitiativeのTrust Markを取得した。 ・June 19, 2017 IRMの新しい業界基準を確立した2015年の画期的な "Laws of Relationship Management (IRM)"へのフォローアップレポートを発表した。		
10	設 立 時 期	2009 年 6 月 17 日		
11	本 部 所 在 地	401 Edgewater Place,Suite 600 Wakefield, MA 01880 USA		
12	関 連 標 準 化 技 術	Kantaraでは以下の三つのID管理技術を扱っている (1) OpenID 1つのIDを複数のインターネットサイト上で無料かつ簡単に使うための仕組み (2) SAML (Security Assertion Markup Language) 異なるインターネットドメイン間でユーザー認証を行うための XML をベースにした標準規格 (3) Information Card 情報が異なる複数のIDを一人のユーザが管理し、用途によって使い分けるWindows UIベースの認証方式		
13	権 利 関 係 (I P R P o l i c y , B y l a w s な ど)	IPR Policy https://kantarainitiative.org/about/ipr/ Bylaws https://kantarainitiative.org/wp-content/uploads/2017/05/Kantara-Initiative-Inc-Bylaws_05032017_FINAL.pdf		
14	備 考 (普 及 状 況 な ど)	OpenIDはYahoo!, Google, mixi, 楽天などで採用されている。 SAMLは大企業のシステムや電子政府などに使われている。 Information CardはWindows Liveで採用されている。		
15	更 新 履 歴	2018年6月28日	初版作成	担当: 齊藤(OKI)

(注1) 日系企業とは親会社が日本企業かどうかで判断する。

(注2) 「TTC活動との関連性」とはTTCの専門委員会の活動と関連しているかを示す記載とし、理由には具体的な専門委員会名と関連している部分等を記載する。